

令和２年度青森市男女共同参画審議会委員意見等一覧
 (青森市男女共同参画プラン２０２０の一部改定について)
 (意見聴取期間 令和２年６月１６日～６月３０日)

番号	資料項	提出された意見の概要
1	P 1	計画の名称について「青森市男女共同参画プラン２０２３」はどうか。前々回のプランは西暦年がついていなかったが、あった方が目に付くし、いつのプランかすぐにわかる。
2	P 3	計画の位置づけ、本市の動きに、当プランは青森市男女共同参画推進条例第二十六条第一項に基づくDV防止計画であることを明記した方が良い。
3	P 5	国の動きに、女性活躍推進法の改正とハラスメント防止法が成立について加え、「対策を義務付ける指針が確定した。SOGIから、アウティングを含めたパワーハラスメントの防止対策が各企業、自治体、各種団体で義務化される。」と追記したほうが良い。
5	P 1 1	<p>社会・経済情勢 年齢層別に見た女性の労働力率について 青森市が全国及び青森県内と比較した場合、年齢が上がるにつれ、労働力率が下がっていくのはなぜなのだろうか？</p> <p>人生１００時代の中で、高齢期の女性の就労及び社会参画が重要となっている動きがある中、低い要因について解明し、課題解決を図る必要があると思う。</p> <p>市民意識調査「社会活動に参加したことがある市民の割合」の女性の割合が低いことも同じような要因があるのではないか？</p>
6	P 2 3	市民意識調査「社会活動に参加したことがある市民の割合」の女性の割合が低すぎるので課題解決を図る必要がある。

番号	資料項	提出された意見の概要
7		プラン改定案 目標とする指標の変更について
(1)	P 2 2	市役所における男性の育児休業取得率が6.0%の目標値は低くないだろうか？また、ハードルの低い配偶者出産休暇を特に推進していこうと考えているのであれば、育休取得率プラス配偶者出産休暇の取得率を100%という目標値を設定してはいかがだろうか？
(2)	P 2 2	女性の起業・創業件数の基準値が5件であれば、あと3年あるので目標値を少し高く（7件）設定しても良いのではないだろうか。
(3)	P 2 3	社会活動に参加したことがある市民の割合（うち女性の割合）目標値が24.6%は低すぎると思う。せめて30%と設定しても良いと思う。
(4)	P 2 3	消防団員に占める女性団員の人数・割合について、青森市は他市町村に比べ、女性消防団の人数、活動は活発だと思われるので目標値を国が定める数値（H38年までに5%）と同様に5%としても良いのではないか。